


1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

地区特性	
<p>【データ】</p> <p>1日平均乗降者数……………10,099人/日(実績)</p> <p>高齢者利用者数……………1,182人/日(推定)</p> <p>身体障害者利用者数……………283人/日(推定)</p> <p>注) 高齢者利用者数 = 1日平均乗降者数() × 市平均高齢者率</p> <p>身体障害者利用者数 = 1日平均乗降者数() × 市平均身体障害者率</p>	<p>【位置図】</p> 
<p>【地区特性】</p> <ul style="list-style-type: none">・本地区は、東地域、北地域、中地域にわたる地区で、駅周辺には集合住宅の他に、大阪府立大学、白鷺公園などが立地している。・本地区は、駅東側では、住宅市街地総合支援事業区域内にある集合住宅の建て替え事業中であり、今後、都心に近い大学のある住宅地として、中高層住宅と低層住宅が調和したまちの形成をめざしている。	
<p>【交通バリアフリー化からみた主な課題】</p> <p>鉄道駅</p> <ul style="list-style-type: none">・駅の構内・構外ともエレベーター等の段差解消施設が未整備である。・障害者用のトイレなど、利便施設の整備、案内サインの改良など利便性の高い施設への更新が課題。 <p>駅前広場</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、西側にロータリーがあるが、バスは乗り入れていない。 <p>道路</p> <ul style="list-style-type: none">・地区内の歩道は、狭い箇所が多く、歩道の有効幅員の確保などの検討が課題。 <p>信号・交差点</p> <ul style="list-style-type: none">・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。	

用途地域図



建物用途現況

